

漢方薬で癒す ここころとカラダー6ー

花粉症の結膜炎と顔の湿疹に

越婢加朮湯

えっふびかじゅつとう

厳しい寒さの冬もようやく終わり、信州にも春がやってきました。嬉しい反面、春風に乗つてやつてくるスギ花粉が憂鬱です。「抗アレルギー剤を飲むと眠くて仕事（勉強）にならない」とか「ステロイド剤もなんだか怖い」とおっしゃる方々に漢方薬はお役に立ちます。「アレルギー性鼻炎には小青竜湯でしょ。知ってるよ」と言われそうですが、花粉症の悩みは鼻だけではありません。目がかゆくてステロイドの目薬でも改善しない場合や花粉症と気付かれていらない

様々な皮膚
症状、粘膜
症状があります。



なるとほっぺが赤くなつてかゆい」「耳の穴がかゆい」「喉の奥がイガイガする」という方々、さらに「誰にも言えないけど大事なところがめっちゃかゆい」という女性の皆さん、それ花粉症です。多量に飛ぶスギ花粉は、体の表面だけでなく、表面に近い粘膜にもまんべんなく付着し、アレルギー症状を起こすのです。こうした場合、越婢加朮湯が皮膚や粘膜の炎症を抑え、かゆみを止めてくれます。それでもかゆみが残る場合は、強力なかゆみ止めの作用がある消風散を頓服で使います。

（小児科部長 池野一秀）

小青竜湯 しょうせいりゅうとう

効能又は効果：①下記疾患における水様の痰、水様鼻汁、鼻閉、くしゃみ、喘鳴、咳嗽、流涙。気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、感冒 ②気管支炎

越婢加朮湯 えっふびかじゅつとう

効能又は効果：腎炎、ネフローゼ、脚気、関節リウマチ、夜尿症、湿疹

消風散 しょうふうさん

効能又は効果：分泌物が多く、かゆみの強い慢性の皮膚病（湿疹、蕁麻疹、水虫、あせも、皮膚瘙痒症）

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師が書籍を出版！

Dr.イケノの 思春期お悩み相談室 漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278円（税込）

B6判・180頁

発行：新興医学出版社

当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中！

